

学校訪問記 特色ある教育を行う学校

キリスト教の精神に基づく女子教育とグローバル化に対応した新たな取り組み

学校法人宮城学院
宮城学院中学校・高等学校

『宮城学院中学校・高等学校』

学校法人宮城学院は、明治19年、宮城女学校として創設されました。宮城学院中学校・高等学校は、宮城県仙台市青葉区にあり、仙台駅からバスで約30分の、緑に囲まれた広大なキャンパスに、同法人が設置する宮城学院女子大学とともにあります。



緑に囲まれた広大なキャンパス

本校では、建学の精神にもある、福音主義キリスト教の精神に基づいて、「神を畏れ、隣人を愛する」をスクールのモットーに、人類の福祉と世界の平和に貢献する女性を育成するべく、様々な教育改革に取り組んでいます。

【キリスト教教育】

本校の教育の土台にはキリスト教教育と女子教育があります。キリスト教の教えを人格形成のベースとして、主体的に行動できる女性の育成を行っています。

自治活動が盛んで、女子生徒だけで、学校行事や課外活動を運営する中で、積極的に意見できる生徒が自然と育っていく環境があります。その結果として、自己主張ができ、社会で活躍する多数の女性リーダーを輩出しています。

【英語教育・E・Jr.】

中学校では、幼稚園や小学校で英語を学んできた生徒を受け入れるため、「英語入試」(英語検定4級相当以上のスコアを有するものに、英語・日本語の面接及び日本語の作文で判定する)という制度があり、この入試で入学した生徒を「E・Jr.」と呼び、小学校までに身につけた英語力を向上させるカリキュラムを実施しています。

仙台市内には、宮城明泉学園という、英語教育に特色のある幼稚園があり、フレンドクラブという小学生向けの放課後英語教室も設置しています。E・Jr.はこの学園の出身者や、その他の

英会話教室や塾等の様々な教育機関で英語を学んだ生徒の「せっかく身につけた英語力を失いたくない」という希望に対する受け皿としての役割を果たしています。

E・Jr.に入学した生徒は、もともと英語を話すことを得意としています。宮城学院に入ってから正確な文法や単語といった基礎知識を学ぶことで、無意識に使っていた言語を分析・理解することができるようになり、4技能のうち、「聞く」「話す」だけでなく、「読む」「書く」の力も伸ばすことができます。



E-Jr.の授業の様子

その結果、英語の成績が格段に伸び、英語の学習時間を減らすことができるため、その時間を他の教科の勉強時間として活用し、全体的に成績が良くなる傾向にあります。

また、E・Jr.を卒業した生徒の内部進学先として、高校の特別進学コースに、「グローバルコミュニケーション」という専攻があり、大幅に英語の授業時間を確保することにより、英語に特色をもつ大学や、海外留学を目指すことができます。

【グローバルスタディーズ】

本学を象徴するプログラムの一つとして、「グローバルスタディーズ」という国際理解プログラムがあります。

グローバルスタディーズでは世界の社会問題に目を向け、NPOやNGO等で国際貢献活動を行う方を講師として招いて世界の課題について話を聞いた後、少人数グループに分かれて課題について調べます。

大きなテーマが「貧困と教育」「平和と差別」「環境と開発」の3つであり、中学生は調べた内容をまとめた、ポスター発表会を行い、高校生は探究学習を行い、課題に対する原因や解決策を考えてポスター発表会を経て、各クラスの代表がプレゼンテーションを行います。

具体的な内容としては、例えば、アフリカの貧困問題や児童労働問題、女性差別問題等についての調べ学習や、現地でそういった実態を見てきた方を講師に招いて話を聞きます。以前には、ジェノサイドから命からがら逃げてきた「ルワンダの教育を考える会」のマ

リリースズさんを招いて講演をしていただいたこともあります。

こういった取組を中学校1年生から高校2年生までルーチンワークのように繰り返し行うことで、発信力や話す力を身につけています。

【スタディモール】

スタディモールとは、校内に設置された自習のためのスペースであり、言わば「放課後自習の専門店街」として、様々な学習のプログラムを無料または安価で提供しています。

- ・ 学習支援カウンター：質問対応の教員、大学生のチューターが常駐している。大学の過去問題も無料で入手可能である。
- ・ 自習室：個室タイプや間仕切りスペース等の自習室がある。

- ・ 勉強班：学校の問題集を解いて指導者が確認を行う「学内学習塾」。全校生徒の約2割が所属している。
- ・ 大学入試対策セミナー：大学入試に向けての対策講座として様々な科目を開講している。

- ・ 東大螢雪会オンライン：医歯薬系大
学受験のためのオンライン講座。
- ・ 答案練習会：11月頃から始まる過去問題を集中的に勉強する会。

この取り組みは、生徒の自宅での学習時間不足や、帰宅してから塾に通う時間的、経済的な負担の解決策として始まりました。校内にあるため、部活

動の後でもすぐに利用でき、同じ部屋で頑張る生徒達を励みとして学習に取り組むことができます。



学習支援カウンター

【3つの新コース】

高校では、建学の精神に基づいたキリスト教教育を土台としつつ、グローバル化の進展や多様な進路への対応といったニーズを考慮して、平成31年度より3コース3専攻制に移行します。

難関国立大学を目指す「選抜コース」、英語重視の教育を行うグローバルコミュニケーション（GC）を含む「特別進学コース」、宮城学院女子大学等への内部進学や豊富な推薦枠で大学進学を目指す「総合進学コース」の3コース体制による新カリキュラムを実施します。

【国際寮】

キャンパス内には、遠方から入学した生徒や留学生、帰国生を対象とした高校の国際寮があります。現在、エスニアからの留学生やタイからの帰国生等を含む7名が入寮しています。

日本人生徒と外国人生徒の2名1室でルームシェアすることにより、日常生活の中でグローバルな環境を過ごすことができます。

7名でのスタートでしたが、好評を得て、来年度は20名の生徒が入寮予定となっております。今後も入寮者が増えることを期待しています。



国際寮室内

ムに参加した生徒に経験談を話してもらうなど、グローバルな要素を前面に出すようにしています。

また、説明会場では、外国人留学生や外国教員の協力を得て、積極的に参加者に声をかけてもらうなど、学校の中で異文化体験ができる雰囲気を出すことを心がけています。

学校見学会では、通常の英語の授業 E・Jr. の英語の授業、グローバルコミュニケーション（GC）の授業を学ぶことができるようになっており、それぞれの雰囲気を感じてもらえるようにしています。

【取材を終えて】

キリスト教を土台とする独自の教育理念を持って、女子教育、英語教育を行っていることが窺えました。

特に英語教育に関しては、他の学校にはない先進的な取り組みを行っており、それを積極的に広報することで、生徒数の増加に結びついています。

校長をはじめ、教職員が協力して校内に新しい風をおこした成果が現れ始めていると感じました。

（取材）私学経営情報センター

【生徒募集】

英語教育に重きを置いているので、学校説明会では、実際に留学プログラ